

若年層から生活習慣病を予防すべき7つの理由

理由



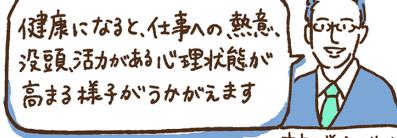
4 健康的に働ける期間が伸びる

若年層のうちから健康課題に取り組むと

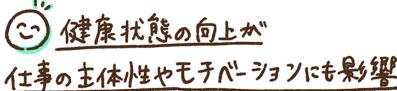


職場全体の労働力の維持に繋がる!

5 健康になると業務パフォーマンス↑



※参考文献: 古井裕司 村松賢治 井出博生
日本労働研究雑誌, 2018



すべての働くひとを健やかに

健康保険組合連合会
けんぽれん

コラボヘルスとは: 企業と健保組合が協働して行う従業員の予防・健康づくり

2 早期の予防が最善策

1 健診データ提供の制度化



健保組合Aの場合

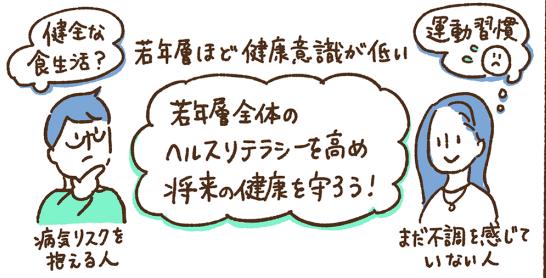


健保組合Aの場合



3

若年層のヘルスリテラシーを高めるため



6

特定保健指導の対象者が減る

健保組合Bの場合

課題意識/BMIの悪化防止は40歳代からの対応では遅い



さらに 将来の特定保健指導対象者の増加予防のため若年層向け保健指導

対象者数が2年間で約1割減少!

7

健康経営の推進で採用力UP

健康経営優良法人認定において
【40歳未満の健診データ提供】
大企業: 必須 / 中小企業: 加点



思わない

働きたい

働きたいと思う

就活生および転職者を対象としたアンケート
健康経営優良法人認定を取得している会社で働きたい・働きたいといふ
→ 9割

出典: 健康経営優良法人認定事務局「ACTION!健康経営」

若年層からの健康づくり
↓
従業員を大切にする企業として好意的
↓

採用活動の強化



コラボヘルスで一人ひとりの健康と企業の持続的な経営を支えます!

